

札幌

Hokkaido Sapporo Area

ラグーマン流の地域貢献とは？

全国屈指のラグビーのクラブチーム「北海道バーバリアンズ」が所有する約1万8千坪のグラウンドが、定山溪のまちを元気づけている。昨年春から桜やライラックを植樹し、地域住民の憩いの場づくりプランが進む。また、この冬には定山溪温泉エリアとのコラボレーションイベントを開催。さらに同クラブの活動時以外には、各種スポーツ団体をはじめ、一般向けにも無料開放を行っている。同クラブ理事山田修平さんは「クラブチームが自前グラウンドを持つのは全国的にも珍しい。維持コストもかかるが、まずは多くの人にこのグラウンドへの愛着を持ってもらいたい。今後は道内外からの合宿誘致を推し進めるなどし、クラブ強化とともに定山溪地区の活性化にもつなげたい」と話す。

「One for all, All for one」とは、すべてのラグーマンの根底にあるスピリット。ホームグラウンドへの真摯な想いと誇りは周囲を巻き込み、「将来は定山溪ラグビーパークタウンに」という構想に向け、着実に歩みを進めるに違いない。

●NPO北海道バーバリアンズラグビーフットボールクラブ
www.hokkaido-barbarians.com/



メインラグビー場のほか、野球場もある。近くには温泉も。社内や仲間との交流の場として利用してみても。利用には入会金・年会費無料の同クラブカード入会が条件



時計台の鐘の「音」や、まちなかの「顔」に注目するなど、「てくてく」と散歩する「テクニク」を提案。文庫本サイズで、持ち歩きにもおすすめ

今まで知らなかった札幌のまちなか散歩術

「**普**段あたりまえのように歩いている札幌の街を、ちょっと見方を変えて、眺めてみよう——観光ガイドブックとはひと味違う札幌都心のガイドブックが札幌商工会議所札幌TMOより発行され、話題を呼んでいる。その名も「てくてくのテク」。観光というよりも、むしろ、まちなか観察ハンドブックと呼ぶにふさわしい。札幌都心を存分に楽しみ、味わえるスポットを「形」「時」「石」「音」「顔」「庭」「道」といった7つのキーワードに分け、紹介している。例えば、何気なく目にしている建物や街角の人気キャラクター、ちょっと変わった看板などなど。知っている、いつもの通勤路や散歩コースも明日から変えてみたくなるかも！ 文庫本サイズで、札幌に長く住む人にもぜひ手にとってほしい一冊だ。観光案内所や市内飲食店で無料配布している。

●札幌商工会議所 札幌TMO
www.sapporoteku2.net/

エゾシカとほうじ茶で新・ふるさとの味

高タンパクで低カロリー、低脂質、ミネラルも豊富なシカ肉は今、注目株のヘルシー食材。とはいえ、フレンチや薬膳料理などの煮込みやスパイスを効かせた料理を思い浮かべる人も多いだろう。

だからこそ「いつでも誰にでも愛される味を作りたい」と語るのは、エゾシカの佃煮「雪もみじ」を考案したお茶の老舗玉翠園代表取締役玉木康雄さんだ。良質なエゾシカ肉をほうじ茶でコトコトと煮あげ、熱々のご飯やお茶うけ、酒の肴にもなる甘辛い佃煮に仕上げた。



道内でエゾシカによる森林や農作物への被害が増加する中、エゾシカ肉の消費拡大と「地産地消」にも一翼を担う逸品だ

「ほうじ茶で煮ることで肉の臭みを抑え、旨みを封じ込めることができた」と、日本茶インストラクターならではのアイデアが妙味を引き出したという。かみ応えをほどよく残しつつ、やさしい甘さと旨みが口の中でじんわり広がる。当初は業務用として販売していたが、お得意さまのクチコミで評判を呼び、家庭用小瓶タイプも販売することに。120g入りで、945円。同店で販売する他、丸井今井本店「きたキッチン」でも取り扱う。

●お茶の玉翠園
TEL:011-231-1500

akabira
iwamizawa
yubari



春は満開の桜、夏は庭の畑づくり、秋には見事な紅葉が心を和ませる。(夕張市鹿の谷東丘町25番地1)

夕張で体験しよう！ 快適な田舎暮らし

夕張「鹿の谷」地区は、その名のごとく間近で鹿に出会える自然豊かな場所だ。山々に囲まれた穏やかなこの土地で、住み手を失った旧夕張市営住宅が売却されたのは昨年10月。この住宅を(株)トベックスが買い取り、道外からの移住者を募るための移住体験宿泊棟としてリフォームした。移住者たちが不安に感じる寒さ対策も完璧だ。元の構造体であるコンクリートブロック壁は残して丸太や壁材で覆い、このコンクリートが蓄熱層として働き、床暖房の熱を室内全体に届ける仕組みになっている。間取りは2LDKにロフト付き。オール電化だが薪ストーブもあり、火を焚く楽しさはもちろん、ストーブ調理を試すチャンスにも恵まれる。

季節ごとの暮らしを楽しんでもらうため今後約2年間道外からの滞在を受け付ける。体験受け入れ期間は平成22年12月15日まで(最長6泊7日)。料金は1棟1泊6,000円(大人6人まで)。問い合わせ・申し込みは下記で受け付けている。

●夕張市役所内 ゆうばり暮らしサポートチーム
TEL:0123-52-3137(佐藤・武部)
●トベックス 田舎暮らし応援部
TEL:0134-65-8044(荒木・菅田)

道央

Hokkaido Middle Area



ゲリラ的にイベントなどでも出店するが、普段は幌岡SOUKOでしか味わえない「じゃが〜ル」

寄り道しても食べた〜い「じゃが〜ル」

道の駅がない地域でも地元の情報を発信しようと、赤平に民間主導による“よりみちの駅”幌岡SOUKOが登場して5年。その日収穫されたばかりの野菜や切り花、手作り菓子、漬物が並び、地元コミュニティの拠点として、また観光の立ち寄りスポットとして知られるようになった。そんな幌岡SOUKOの看板娘ならぬ看板フードとして売出し中なのが「じゃが〜ル」だ。皮が赤い赤じゃがを練り込んだ生地の中に、具やソースがたっぷり。小腹を十分に満たしてくれること請け合いだ。定番じゃが〜ル味は、野菜とひき肉、ナポリタンソースを詰め込んだ、どこか懐かしい味わい。他にはしょうが焼味、カレーウインナー味があり、さらには新たな具材を使った新顔も開発中だ。幌岡SOUKOが冬季休業から目を覚ますのは、今年は4月25日(土)。早速、寄り道しに行ってみよう。

●あかびら★よりみちの駅「幌岡SOUKO」
TEL:0125-32-6760



吹きぬけのあるホールには暖炉も備え付けられている。暖炉を開いた講演会や朗読の会も人気だ



「じゃが〜ル」キャラクター、まーちゃんもヨロシクね!